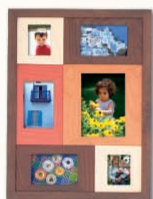
Canon

SELPHY CP780

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド

Japan Manual Award

日本マニュアルコンテスト 2009
優秀賞
操作マニュアル第 1 部門

日本語

- ご使用前に必ずこのプリンターユーザーガイドをお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

CDI-J383

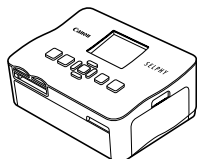
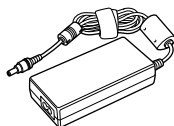
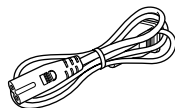
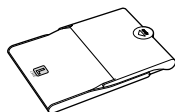
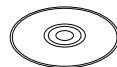
セルフィーで、おもいでを選んで残そう

ちっちゃいけど本格派。かわいくって、役に立つ。
セルフィーは、あなたの世界をどんどん広げてくれます。

セルフィーでできること

もくじ

箱に入っているものを確認しよう

お使いになる前に、以下のものが入っていることを、□にチェックを入れながら確認してください。
万一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

インクと用紙について（別売）

お使いになる前に、カラーインク／ペーパーセットを別途購入してください。

カラーインク／ペーパーセット			必要なペーパーカセット
製品名	用紙の大きさ	印刷できる枚数	
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	L サイズ	36	ペーパーカセット PCL-CP300（本製品に付属）
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP 3PACK		108	
カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	カードサイズ	36	ペーパーカセット PCC-CP300（本製品に付属）
カラーインク／フルサイズラベルセット KC-18IF（全面シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）		18	
カラーインク／ペーパーセット KP-36IP（ポストカード）	ポストカードサイズ	36	ペーパーカセット PCP-CP300 *
カラーインク／ペーパーセット KP-72IN（写真用紙）		72	
カラーインク／ペーパーセット KW-24IP	ワイドサイズ	24	ペーパーカセット PCW-CP100 *

* カラーインク／ペーパーセットと一緒に、別途購入してください。

はじめにお読みください

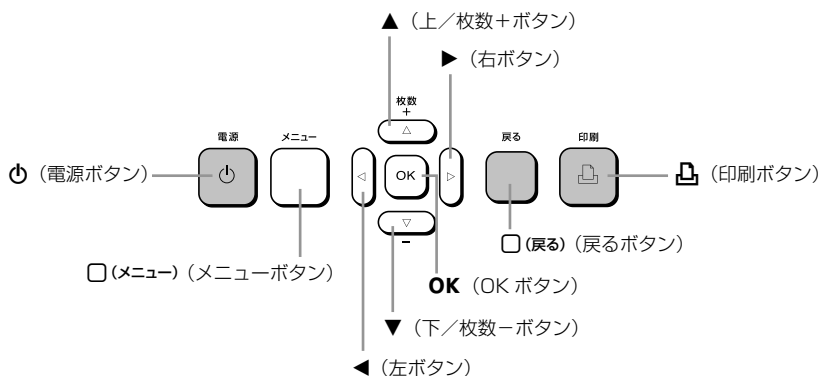
著作権について

本製品で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

保証について

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障や不具合が生じた場合は、帰国したあと、別紙の相談窓口へご相談ください。

このガイドの記載について

- 本プリンターのことを「セルフィー」または、「本機器」と記載しています。
- セルフィーで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- セルフィーのボタンは、ボタンに表記または、ボタンの周囲に表記されている絵文字を使って示しています。
- 画面に表示される絵文字や文言は、［　］付きで示しています。
- 操作部のボタンは、以下の絵文字で示しています。

- ：注意事項を示しています。
- ：補足説明を示しています。
- （p.xx）：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。

セルフィーを知ろう

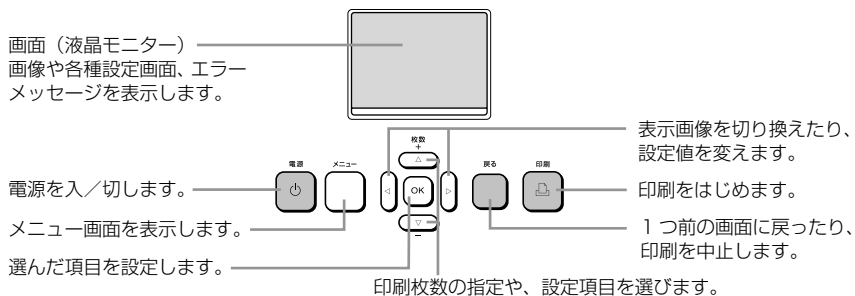
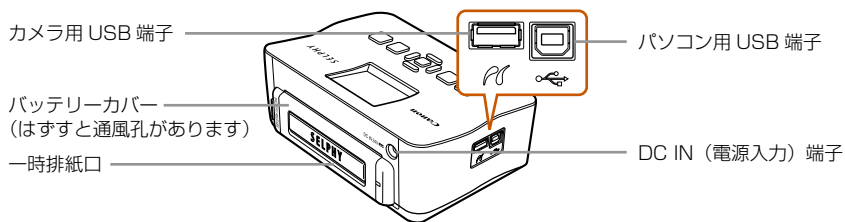
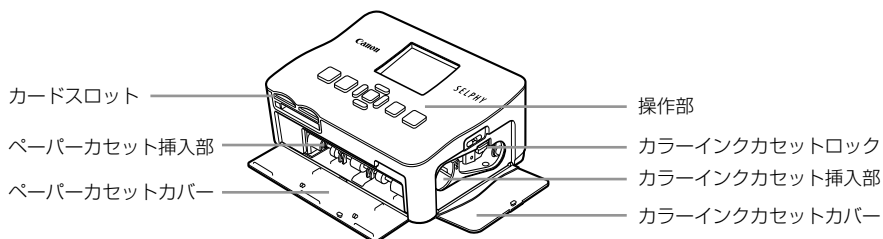
ここでは、セルフィーの各部のなまえや画面の表示内容について説明します。

各部のなまえ

カードスロット
ペーパーカセット挿入部
ペーパーカセットカバー
操作部
カラーインクカセットロック
カラーインクカセット挿入部
カラーインクカセットカバー

カメラ用 USB 端子
バッテリーカバー
（はずすと通風孔があります）
一時排紙口
パソコン用 USB 端子
DC IN（電源入力）端子

画面（液晶モニター）
画像や各種設定画面、エラーメッセージを表示します。

電源を入／切します。
メニュー画面を表示します。
選んだ項目を設定します。
表示画像を切り換えたり、設定値を変えます。
印刷をはじめます。
1 つ前の画面に戻ったり、印刷を中止します。
印刷枚数の指定や、設定項目を選びます。

画面の表示内容一覧

安全に使っていただくために

- ご使用の前に「安全に使っていただくために」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちの場合は、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠ **警告**	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。
⚠ **注意**	傷害を負う可能性がある内容です。
注意	物的損害を負う可能性がある内容です。

⚠ 警告

本機器

- **分解、改造しない。**
- **落下などで破損した場合は、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生した場合は、使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**
  感電、火災の原因となります。
  すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **指定外の電源は使わない。**
  感電、火災の原因となります。

- **雷が鳴り出したら本機器や電源プラグに触れない。**
  感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

電源（コンパクトパワーアダプター）

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**
  電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **指定外の電源は使わない。**
- **電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭きとる。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
  感電、火災の原因となります。

その他

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**
  音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用した場合は、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用した場合は、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠ 注意

- **本機器の内部には手を入れない。**
  けがや本機器の故障の原因となります。

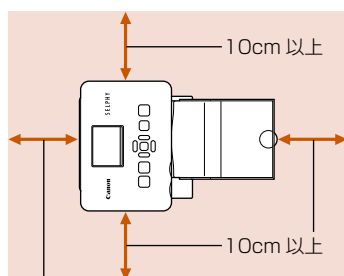
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使わない。**
  感電、火災の原因となることがあります。

- **以下の場所で使用・保管しない。**
  - 直射日光のあたるところ
  - 40 度以上の高温になるところ
  - 湿気やホコリの多いところ
  感電や発熱により、やけど、けが、火災の原因となることがあります。また、本機器が熱により変形することがあります。

- **電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。**
  感電、火災、故障の原因となることがあります。

注意

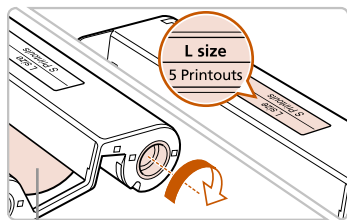
- **コンパクトパワーアダプターは、使用しないときは、電源コンセントから外す。**
- **布などをかけたままコンパクトパワーアダプターを使用しない。**
  長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

セルフィーを置こう

- 机などのしっかりしたものの上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には、絶対に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m 以上離してください。
- セルフィーの周囲は、10cm 以上をあけてください。
- セルフィーのうしろは、印刷する用紙の長さ以上をあけてください。（印刷時に用紙が出たり入ったりするため）

- モーターや強力な磁場を発生させる装置の近くにセルフィーを絶対に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビやラジオなどの近くにセルフィーを置かないでください。誤動作の原因となります。

準備しよう

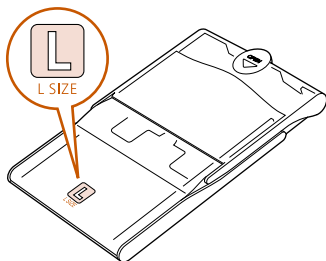
画像を印刷するための準備をします。なお、ここでの説明は、L サイズのカラーインク／ペーパーセット（別売）（p.4）を使ったときを例に説明しています。

カラーインクカセットを準備しよう

カラーインクカセットを確認する

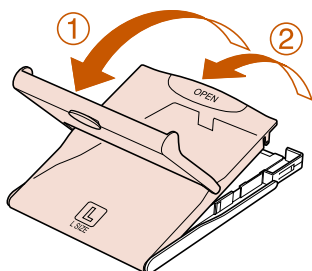
- 印刷するペーパーセットの用紙と「用紙サイズ表示」（L size、Card size など）があっていることを確認します。
- インクシートにたるみがないか確認します。たるみがあるときは、図のように軸を回してたるみをとります。

インクシートを引っ張ったり、さわったり、濡れた手でカラーインクカセットを持たないでください。インクシートが切れたり、汚れや水滴がつくと、印刷できなくなります。

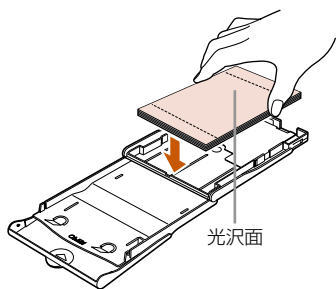
ペーパーカセットを準備しよう

1

用紙サイズ表示を確認する

- 準備したカラーインクカセットと「用紙サイズ表示」（L SIZE、CARD SIZE など）があっているか確認します。

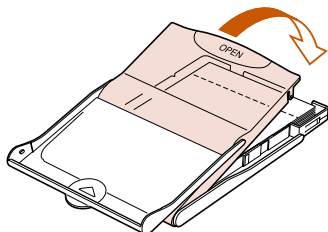
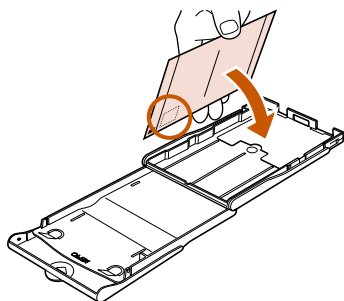
2

ふたを開ける

- ふたは 2 段階になっています。外ふたを開けてから①、中ふたを開けます②。
- ワイドサイズ用のペーパーカセット（別売）では、外ふたを開けたあと、中ふたを OPEN 方向にずらしてから開けます。

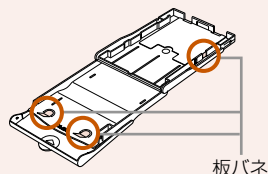
3

用紙を入れる

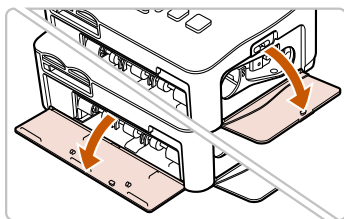
- 手順 1 で準備したペーパーカセット用の用紙を入れます。
- ペーパーカセットに入れられる用紙は 18 枚までです（ワイドサイズは 12 枚まで)。19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）の用紙を入れると、故障や誤動作の原因になります。
- 用紙を図のように持ち、光沢のある面を上にして入れます。(光沢のある面にはさわらないでください。きれいに印刷できなくなります)
- 用紙に「保護シート」が付いているときは、保護シートを取り除いて、用紙だけを入れます。

- 切手欄のあるポストカードサイズのときは、図のように切手欄を中ふた側に向けて入れます。

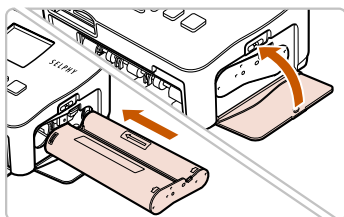
4

ふたを閉める

- 中ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。外ふたは印刷するときは開いたまま使います。
- ワイドサイズ用のペーパーカセット（別売）では、中ふたを閉めて、OPEN とは逆の方向に「カチッ」と音がするまで中ふたをずらします。

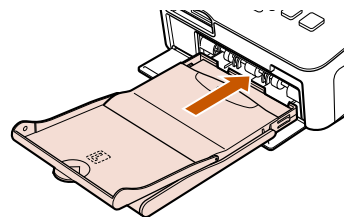
- 用紙は、必ずキヤノン純正の「カラーインク／ペーパーセット」に入っている、セルフィー CP シリーズ専用用紙をお使いください。専用用紙以外の用紙や郵便はがき、セルフィー ES シリーズ専用用紙は使えません。
- 以下のことは絶対に行わないでください。誤動作や故障の原因となります。
  - 用紙の表（光沢のある面）と裏を間違えて入れる
  - 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離す
  - はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使う
  - 印刷前の用紙に文字などを書き込む
  - 一度印刷した用紙を再使用する
  - 使い切ったカラーインクカセットを再使用する
- ペーパーカセットの板バネには触らないでください。変形すると紙送りがうまくできなくなります。
- 用紙の表 (光沢のある面) をさわったり、こすったり、濡れた手で用紙を持たないでください。用紙の表に汚れや水滴がつくと、きれいに印刷できなくなります。

インクとカセットを入れよう

1

カバーを開ける

- ペーパーカセットカバーとカラーインクカセットカバーを開けます。

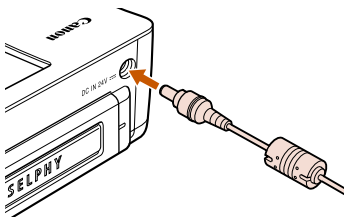
2

カラーインクカセットを入れる

- カラーインクカセットを、図のように「カチッ」と音がして、ロックされるまで差し込みます。
- カバーを閉めます。

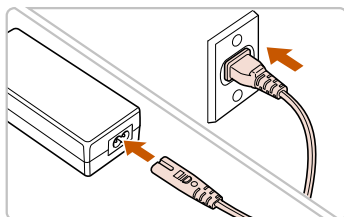
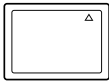
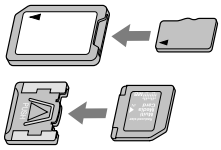
3

ペーパーカセットを取り付ける

- 外ふたが開いていることを確認して（p.10）、ペーパーカセットを図のように突き当たるまで差し込みます。

電源をつなごう

1

プラグをセルフィーにつなぐ

- アダプターのプラグをセルフィーの端子にしっかりと差し込みます。

2

電源コードをつなぐ

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。

> ⓘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

画像を印刷しよう

セルフィーにカードを差し込んで、カード内の画像を印刷することができます。

使えるカードを確認しよう

カードスロット（セルフィーのカード差し込み口）	そのまま使えるカード	専用アダプター（市販品）を使うと使えるカード
CF/microdrive	● CF カード ● マイクロドライブ	● xD-Picture Card*[1]
SD/miniSD/MMC+ RS-MMC	● SD メモリーカード ● miniSD カード ● SDHC メモリーカード ● miniSDHC カード ● MultiMedia カード ● MMCplus カード ● HC MMCplus カード ● MMCmobile カード ● RS-MMC カード *[2]	● microSD カード ● microSDHC カード ● MMCmicro カード
MS/MS Duo	● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● メモリースティック デュオ ● メモリースティック PRO デュオ	● メモリースティックマイクロ

*[1] 動作確認済みアダプター：富士フイルム株式会社 DPC-CF　*[2] Reduced-Size MultiMediaCard

● アダプターが必要なカードは、必ずアダプターを使ってカードスロットに差し込んでください。アダプターを使わずにカードスロットに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
● 撮影した機器で初期化したカードをお使いください。パソコンで初期化したカードでは、画像を認識できないことがあります。

カードやアダプターの使いかたについては、カードやアダプターの使用説明書を参照してください。

印刷できる画像を確認しよう

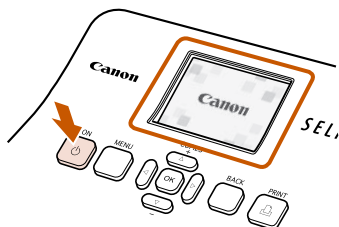
セルフィーで印刷できるのは、以下の画像です。

● Exif 規格に準拠した JPEG 画像

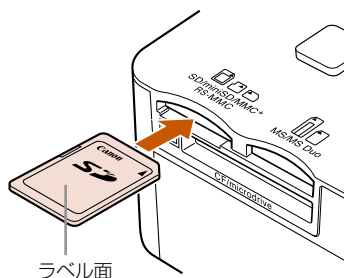
パソコンで編集した画像や、撮影時の画像サイズによっては正しく表示・印刷できないことがあります。

画像を選んで印刷しよう

画像を選び、印刷枚数を指定して印刷することができます。なお、ここでの説明は、SD カードを使ったときを例に説明しています。

1

電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは、もう一度 ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。

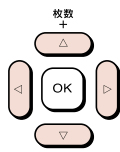
2

カードスロットにカードを 1 枚差し込む

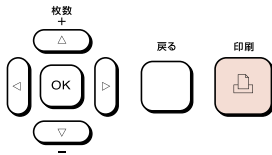
- 印刷したい画像の入ったカードを、対応するカードスロットの、奥に突き当たるまで差し込みます。

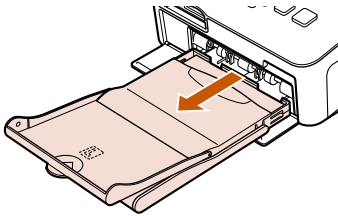
▶ 手順 3 の画面が表示されます。

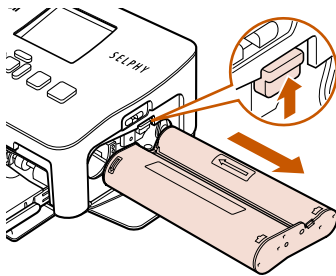
4

画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押して印刷したい画像を選びます。
- ◀ か ▶ を押したままにすると、5 枚先の画像が表示されます。

印刷枚数を選ぶ

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- ▲ か ▼ を押したままにすると、5 枚ずつ枚数が増減します。
- 1 画像につき 99 枚（または合計 999 枚）まで指定できます。
- 別の画像もいっしょに印刷するときは、もう一度、手順 3 と 4 の操作を繰り返します。

印刷する

- ⎙ を押すと印刷がはじまります。
- 印刷中にセルフィーの背面から用紙が一時的に出てきますが、印刷が終わってペーパーカセットの上に出てくるまでは、用紙に触れないでください。
- 印刷された用紙は、ペーパーカセットの上に出てきますが、19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）はためないようにしてください。
- 印刷を途中で中止するときは、□（戻る）を押します。

用紙を入れる

- 用紙が無くなったら、ペーパーカセットをセルフィーから抜きます。
- 新しい用紙を入れて、もう一度セルフィーに差し込みます（p.11）。

カラーインクカセットをかえる

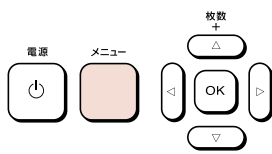
- カラーインクカセットが無くなったら、カラーインクカセットカバーを開けて、ロックを図の方向へ動かすとカラーインクカセットが出てきます。
- 新しいカラーインクカセットを入れます（p.11）。

電源を入れた直後や印刷中は、「ペーパーカセットを抜く」、「カラーインクカセットカバーを開ける」、「カードを抜く」ことは、絶対にしないでください。故障の原因となります。

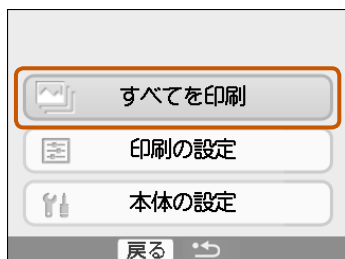
総印刷枚数(p.13)が「0 枚」のときに ⎙ を押すと、画面に表示されている画像が 1 枚印刷されます。

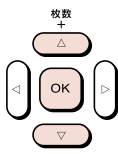
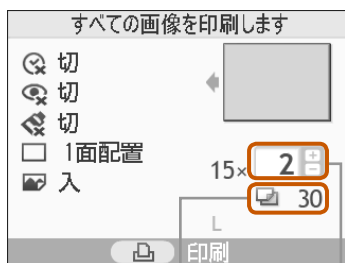
すべての画像を印刷しよう

カード内に保存されているすべての画像を、一括して印刷することができます。

1

メニューを表示する

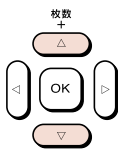
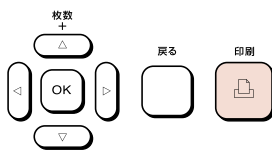
● ▢（メニュー）を押します。

2

設定画面を表示する

● ▲か▼を押して［すべてを印刷］を選び、**OK** を押します。

3

印刷部数を選ぶ

● ▲か▼を押して印刷部数を指定します。

● 部数は 99 枚（または合計 999 枚）まで指定できます。

4

印刷する

● ⎙ を押すと印刷がはじまります。

● 印刷を途中で中止するときは、▢（戻る）を押します。

印刷が終わったらかたづけよう

印刷が終わったら以下の手順でかたづけ、保管します。

- 電源を切ります（p.13）。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜き、アダプターのプラグをセルフィーから抜きます。
- アダプターが熱いときは、冷ましてからかたづけてください。
- カードとペーパーカセットを抜き、ペーパーカセットカバーを閉めます。残った用紙はペーパーカセットに入れたまま外ふたを閉めて、ホコリが付かないよう、暗いところに保管してください。また、包装から出す前の用紙は、包装を開けず、暗いところに保管してください。
- カラーインクカセットは、セルフィーに入れたまま保管してください。取り出して保管するときは、インクシートにホコリが付かないよう袋などに入れてください。
- セルフィーは水平にして、ホコリが入らないように保管してください。

> ⓘ セルフィーにホコリが入ったり、用紙やカラーインクカセットにホコリが付くと、きれいに印刷できなくなります。

印刷した写真を保管しよう

- 写真の両側にミシン目があるときは、ミシン目を折り曲げると切り取ることができます。
- 写真に文字を書くときは、油性ペンで書いてください。
- 「高温（40℃以上）になるところ」、「湿気やホコリの多いところ」、「直射日光が当たるところ」では、写真を保管しないでください。
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に「粘着テープなどを貼る」、「ビニール製のデスクマット、名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる」、「アルコールなどの揮発性溶剤をつける」、「他の物に密着させたまま放置する」などはしないでください。
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。

> ⓘ 保存状態や時間の経過によって、印刷面が変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

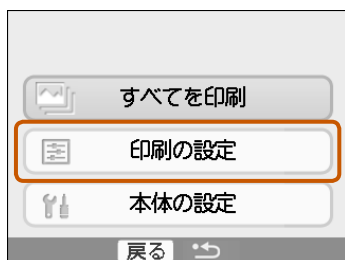
いろいろな印刷をしよう

撮影した日付を入れて印刷したり、画像の色調を変えて印刷するなど、いろいろな印刷をすることができます。また、設定した内容は、印刷するすべての画像に反映されるため、画像ごとに設定する必要はありません。

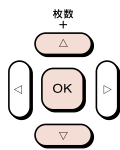
日付を入れてみよう

撮影した日付を、写真の右下に入れて印刷することができます。なお、印刷される日付は、カメラが撮影時に画像へ記録した日付です。そのため、セルフィーでの変更はできません。

メニューを表示する

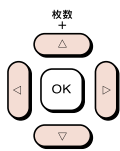
- ▢（メニュー）を押します。

設定画面を表示する

- ▲か▼を押して［印刷の設定］を選び、**OK**を押します。

3

2009/05/05

［日付］を［入］にする

- ▲か▼を押して［日付］を選びます。
- ◀か▶を押して［入］を選ぶと設定されます。
- ▢（戻る）を 2 回押すと、画像表示画面に戻ります。
- 印刷する画像を選んで印刷します （p.13）。

▶ 印刷した画像の右下に撮影した日付が印字されます。

- 日付の並び順を変えることができます （p.27）。
- レイアウト （p.18） によっては、日付を入れて印刷できないことがあります。画面の［情報表示］を［入］にして、表示される印刷の設定をご確認ください （p.27）。

いろいろな機能を知ろう

日付を入れた印刷以外にも、セルフィーではいろいろな印刷をすることができます。
* 初期設定の項目

人の赤目を補正して印刷しよう（赤目補正）

- 目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
- 切 *、 入

- 「顔が画面全体に対して極端に小さい／大きい」、「顔が暗い／明るい」、「顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている」などの画像では、赤目が検出されなかったり、思い通りに補正されないことがあります。
- 赤目以外の部分を誤って補正することがあります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ［入］に設定してください。
- ［レイアウト］で［インデックス］を選んでいるときは、赤目補正は行われません。

画像の色調を変えて印刷しよう（マイカラー）

- 通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

切 *	–	ポジフィルム	ポジフィルムのように自然で色鮮やかな色調になります
くっきり	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります	セピア	セピア調になります
すっきり	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色調になります	白黒	白黒になります

レイアウトを選んで印刷しよう（レイアウト）

- 1 枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。印刷枚数を指定した画像が （p.13）、設定したレイアウトで印刷されます。
- カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）（p.4）をお使いのときは、「8 面配置」に設定してください。

1 面配置 *	–	8 面配置	1 枚の用紙に 8 枚の画像が印刷されます
2 面配置	1 枚の用紙に 2 枚の画像が印刷されます	インデックス	画像がインデックス印刷されます
4 面配置	1 枚の用紙に 4 枚の画像が印刷されます		

- 画像の配置は指定できません。
- レイアウトによっては、ほかの設定が無効になることがあります。画面の［情報表示］を［入］にして、表示される印刷の設定をご確認ください（p.27）。
- ［インデックス］を選んでいるときに［すべてを印刷］（p.15）を選ぶと、カード内のすべての画像を一覧で印刷できます。

自動補正で最適な写真にしよう（自動写真補正）

- 暗い画像が、適正な明るさに補正されます。また「人物の顔色」や「明暗差」も適正になるよう補正されます。
- 切、入 *

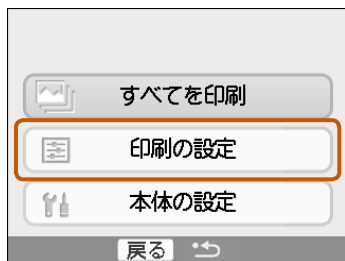
画像によっては、正しく補正されないことがあります。

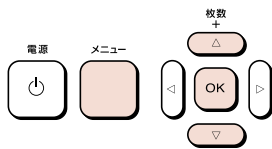
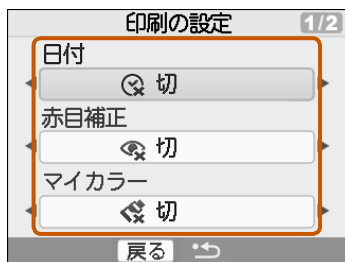
フチあり／なしで印刷しよう（フチ）

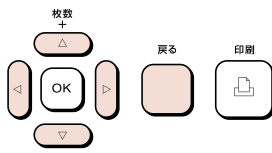
- フチありまたは、フチなしで画像を印刷することができます。
- フチなし *、フチあり

いろいろな機能を設定しよう

「いろいろな機能を知ろう」（p.18）で説明した、各種機能を設定します。各機能とも同様の操作で設定することができます。

1

設定画面を表示する

- (メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押して［印刷の設定］を選び、**OK** を押します。

2

項目を選んで設定を変える

- ▲ か ▼ を押して各項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、(戻る) を押すと設定されます。
- もう一度 (戻る) を押すと、画像表示画面に戻ります。

パソコンの画像を印刷しよう

パソコンにセルフィーをつなぎ、付属のソフトウェアを使うと、セルフィー単体ではできない、画像を一覧しながらの印刷や、いろいろな印刷ができます。また、音声による操作案内もありますので、パソコンに不慣れなかたも、かんたんに印刷することができます。

一覧から好みの画像を選んで印刷

- 画像を一覧しながら、印刷したい画像を選んで、まとめて印刷することができます。

飾りを付けて印刷

- 画像にフレームやスタンプを付けて印刷することができます。また、画像に文字を入れて印刷することもできます。

カレンダー印刷

- 画像にカレンダーを付けて印刷することができます。

用意するもの

- セルフィーとパソコン
- 付属の CD-ROM（COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk）（p.4）
- USB ケーブル（市販品）（セルフィー側端子は Type B）

使えるパソコンを確認しよう

これは推奨環境であり、すべての動作を保証するものではありません。

	Windows	Macintosh
OS	Windows Vista（Service Pack 1 を含む） Windows XP Service Pack 2、 Service Pack 3	Mac OS X v10.4 ～ v10.5
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること	
CPU	Pentium 1.3GHz 以上	PowerPC G4/G5 または Intel プロセッサー
RAM	Windows Vista：1GB 以上 Windows XP：512MB 以上	512MB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	80MB 以上	100MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上	1,024 × 768 ドット以上

- インストールには CD-ROM ドライブが必要です

ソフトをインストールして立ち上げよう

Windows XP と Mac OS X 10.5 を使ったときを例に説明しています。

ソフトウェアをインストールする

Windows

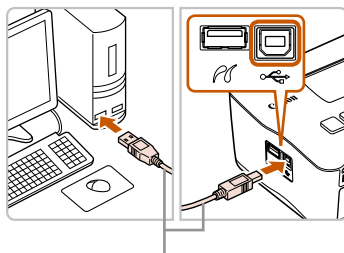
- CD-ROM をパソコンのドライブに入れて、左の画面が表示されたら［おまかせインストール］をクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。

▶ インストールを進めると左の画面が表示されます。

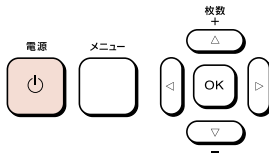
Macintosh

- CD-ROM をパソコンのドライブに入れ、CD-ROM 内の［ ］をダブルクリックします。
- 左の画面が表示されたら、［インストール］をクリックして、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- インストールが終わると表示される画面で［はい］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

セルフィーの準備をする

- セルフィーの電源を切り、カードを抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットと、カラーインクカセットを、セルフィーに入れます（p.9～p.11）。

セルフィーとパソコンをつなぐ

市販の USB ケーブル

- USB ケーブルでセルフィーとパソコンをつなぎます。
- USB ケーブルの使いかたや、パソコンとのつなぎかたについては、それぞれの使用説明書を参照してください。

セルフィーの電源を入れる

● ⏻ ボタンを押して、電源を入れます。

Windows

● インストールが終わると表示される画面で［再起動］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

5

ソフトが立ち上がったことを確認する

▶ セルフィーとパソコンが通信できる状態になると、ソフトが立ち上がって、左の画面が表示されます。

● 次回使うときは、手順２～４の操作を行うと、ソフトが自動的に立ち上がって使えるようになります。

Windows

● 左の画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］または［プログラム］▶［Canon Utilities］▶［SELPHY Photo Print］ ▶ ［SELPHY Photo Print］を選びます。

Macintosh

● 左の画面が表示されないときは、下記の手順でプリンターの登録操作を行います。
メニューの［ ］を選び、［システム環境設定］→［プリントとファクス］の順にクリックして［プリントとファクス］画面を表示します。［+］を押して表示される画面で［CP780］を選び、［追加］をクリックします。
登録操作を終えたら、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［SELPHY　Photo Print］アイコンをクリックすると、左の画面が表示されます。

● USB ハブを介してセルフィーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
● 他の USB 機器（USB マウス、USB キーボードを除く）と同時に使うと、正しく動作しないことがあります。他の USB 機器をパソコンから外して、再度つないでください。
● セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態でパソコンをスタンバイ状態にしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スタンバイ状態から回復してください。
● パソコンの操作方法については、お使いのパソコンの使用説明書を参照してください。

パソコンの画像を印刷しよう

インストールしたソフト（SELPHY Photo Print）を使って、パソコンに保存されている画像を印刷することができます。
また、必要な操作は音声で案内されますので、スピーカーのあるパソコンでは、音声が出るように設定することをおすすめします。

印刷メニューを表示する

- ［印刷メニューへ］をクリックします。
- 印刷するための準備（ペーパーカセット、カラーインクカセットを入れるなど）ができていないときは、［印刷メニューへ］がクリックできません。音声の案内や、画面の表示にしたがって、必要な操作を行ってください。

印刷方法を選ぶ

- ［そのまま印刷する］をクリックします。
- ［飾り付け印刷する］をクリックすると、画像にフレーム、スタンプ、ふきだしを付けて印刷することができます。
- ［カレンダーを印刷する］をクリックすると、画像にカレンダーを付けて印刷することができます。

3

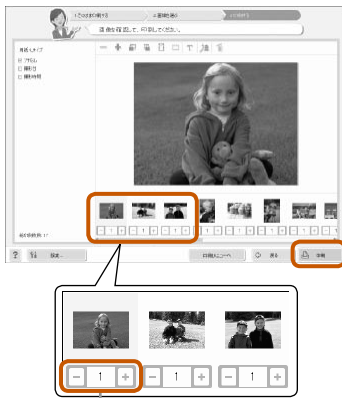
画像を選ぶ

▶ Windows のときは［マイピクチャ］フォルダ、Macintosh のときは［ピクチャ］フォルダ内の画像が、一覧表示されます。

表示する画像の条件を選べます。

このボタンを押して表示される画面でフォルダを選ぶと、別のフォルダに保存されている画像を表示することができます。

- 印刷する画像を選んでクリックします。

▶ 背景の色が変わり、印刷する画像に指定されます。

- 同じ操作で、印刷したいすべての画像をクリックします。
- もう一度クリックすると、背景の色が元に戻り、印刷の指定が解除されます。

印刷する枚数を指定して印刷する

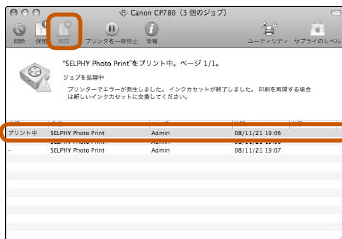
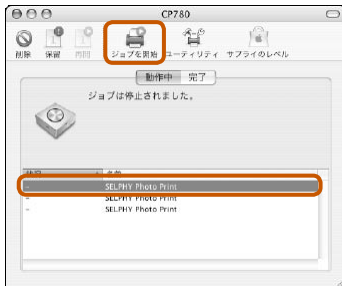
- 画像ごとに、印刷する枚数を指定します。
- ［印刷］をクリックすると印刷がはじまります。

［－］か［＋］を押して印刷する枚数を指定します。

Macintosh

- 用紙が無くなったときは、ペーパーカセットに用紙を入れてから、以下の操作で印刷を再開してください。

① Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［ ］をクリックして左の画面（上は 10.4、下は 10.5 の画面）を表示します。
② 左の図のように、印刷ジョブをクリックします。
③ 10.4 では［ジョブを開始］をクリックします。10.5 では、［編集］メニュー▶［すべてを選択］を選んでから、［再開］をクリックします。

▶ 印刷が再開されます。

終了する

Windows

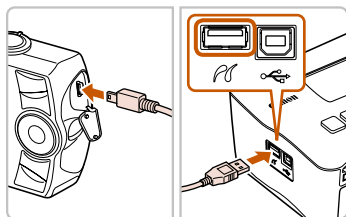
- すべての印刷が終わったら、画面右上の ☒ をクリックします。

Macintosh

- すべての印刷が終わったら、画面左上の ● をクリックします。

デジカメとつないで印刷しよう

PictBridge に対応したカメラをつなぐと、カメラで選んだ画像を直接印刷することができます。
ここでは、例としてキヤノン製カメラをつないだ印刷方法を説明しますが、お使いになるカメラと操作方法が異なるときは、カメラの使用説明書を参照してください。

セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

カメラに付属の USB ケーブルでセルフィーとカメラをつなぐ

セルフィー、カメラの順に電源を入れ、カメラの画像を再生する

▶ カメラの画面に が表示されます。

4

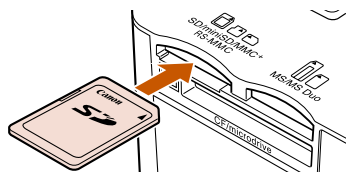
カメラで画像を選び、カメラの ボタンを押す

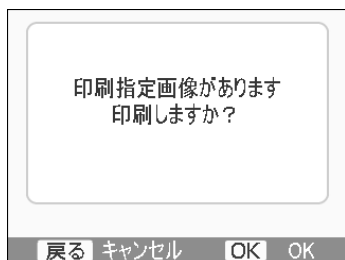
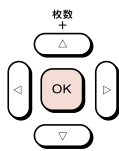
▶ 印刷がはじまります。

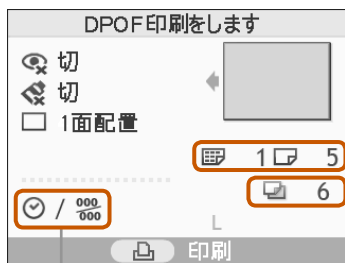
- 印刷中は、セルフィーの (戻る) で印刷を中止できません。カメラを操作して中止してください。
- PictBridge とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定した統一規格です。メーカーや機種を問わず、カメラやビデオカメラを直接プリンターにつなぎ、パソコンを経由せずにダイレクトプリントすることを目的としたものです。

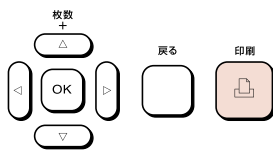
カメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）

印刷する画像の指定や印刷時の設定などを、あらかじめカメラ側で行って、画像を印刷することができます。設定方法については、お使いのカメラの使用説明書を参照してください。

1

カメラで DPOF 設定したカードを、カードスロットに差し込む

▶［印刷指定画像があります　印刷しますか？］と画面に表示されます。

2

OK を押す

3

設定の内容を確認する

4

印刷する

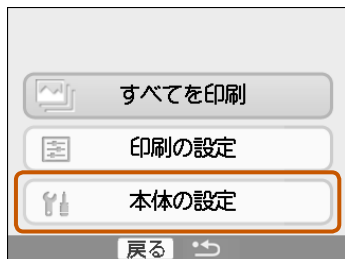
- を押すと印刷がはじまります。

- 日付や画像番号は、カメラで設定したDPOF 情報になります。（セルフィー側では変えられません）
- 手順 3 の画面は、（メニュー）を押して［DPOF 印刷］を選び、**OK** を押しても表示できます。ただし、カメラで DPOF の設定をしたカードを差し込まないと、メニュー画面に［DPOF 印刷］は表示されません。

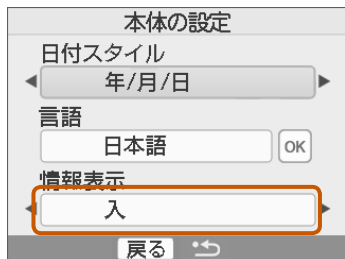
セルフィーの設定を変えよう

画面の情報表示を非表示にしよう

画面に表示される画像の情報を非表示にして、画像を大きく表示することができます。

1

設定画面を表示する

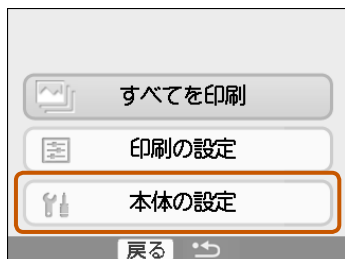
- ▢(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押して［本体の設定］を選び、**OK** を押します。

2

［情報表示］を［切］にする

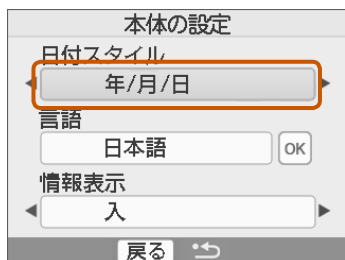
- ▲ か ▼ を押して［情報表示］を選びます。
- ◀ か ▶ を押して［切］を選び、▢(戻る) を押すと設定されます。
- もう一度 ▢(戻る) を押すと、画像表示画面に戻ります。

日付の並び順を変えよう

日付を入れて印刷する（p.17）ときの日付の並び順を、変えることができます。

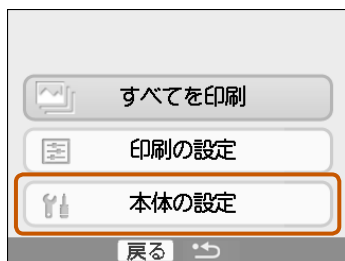
1

設定画面を表示する

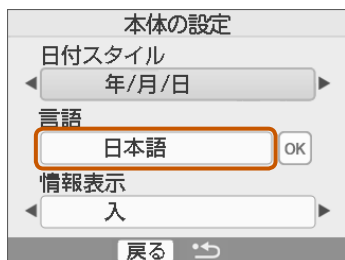
- ▢(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押して［本体の設定］を選び、**OK** を押します。

2

設定する

- ▲ か ▼ を押して［日付スタイル］を選びます。
- ◀ か ▶ を押して目的の並び順を選び、▢(戻る) を押すと設定されます。
- もう一度 ▢(戻る) を押すと、画像表示画面に戻ります。

表示される言語を変えよう

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。

設定画面を表示する

- ▢（メニュー）を押します。
- ▲ か ▼ を押して［本体の設定］を選び、**OK** を押します。

言語設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押して［言語］を選びます。
- **OK** を押します。

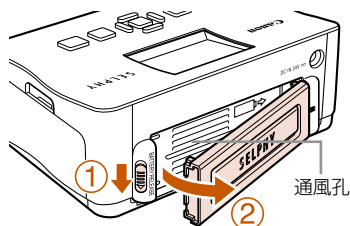
3

言語を選んで設定する

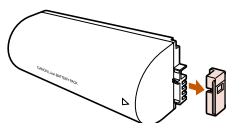
- ▲、▼、◀、▶ を押して言語を選び、**OK** を押します。
- ▢（戻る）を 2 回押すと、画像表示画面に戻ります。

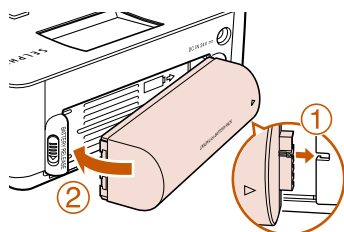
バッテリーを使って印刷しよう

バッテリーパック NB-CP2L（別売）を使うと、コンセントのない場所でも画像を印刷することができます。なお、フル充電したバッテリーで、L サイズの用紙を約 54 枚印刷 * することができます。
* 印刷枚数は当社測定条件によります。また、印刷条件により異なることがあります。

1

バッテリーカバーを取りはずす

- ①の方向へスイッチを動かしたまま、②の方向へ動かしてはずします。

2

バッテリーの端子カバーをはずす

3

バッテリーを取り付ける

- ①の方向へ差し込んだあと、②の方向へ「カチッ」と音がして、ロックされるまで動かして取り付けます。

4

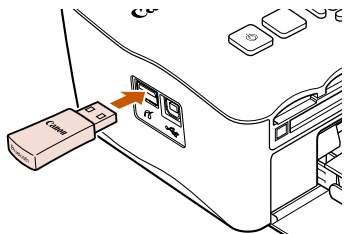
セルフィーに電源をつなぐ（p.11）

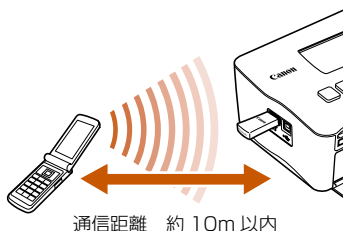
▶ 充電がはじまり、[ ] が画面に表示されます。
▶ 充電は約 4 時間で完了し、[ ] が消えます。
- 充電中にセルフィーを使うときは、電源を入れる（p.13）と使うことができます。また、電源を切る（p.13）と [ ] が表示され、充電が再開されます。

- バッテリーの注意事項については、バッテリーに付属の使用説明書を参照してください。
- [ ] が表示されている状態で、⏻ 以外のボタンを約 3 秒以上押すと、[ ] の表示が消えます。また、画面が消えている状態でも充電中のときは、⏻ 以外のボタンを押すと、約 10 秒間だけ [ ] が表示されます。
- セルフィーを約 5 分以上使わないと、節電のため自動的に電源が切れます。

携帯電話の画像を印刷しよう

Bluetooth ユニット BU-30（別売）を使うと、Bluetooth 対応の携帯電話で撮った画像を、ケーブルでつながずに印刷することができます。なお、携帯電話の使いかたや、Bluetooth による印刷方法については、お使いの携帯電話の使用説明書を参照してください。

セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

Bluetooth ユニットを取り付ける

- BU-30 に付いているカバーを取り外し、図のように差し込みます。
- セルフィーの電源を入れます（p.13）。

携帯電話からセルフィーに画像を送る

- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅します。
- ▶ 通信が終わると、印刷がはじまります。

- パソコンとセルフィーを無線で通信させることはできません。
- 転送できる画像のファイルサイズは、最大で約 2MB です。（お使いの携帯電話によって異なります）
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷がはじまるまで時間がかかることがあります。
- 動画、メールや電話帳の内容、インターネットやメール添付の URL からダウンロードした画像は印刷できません。
- お使いの携帯電話の機種によっては、カードに保存した画像を印刷できないことがあります。
- 無線で印刷中は ▢（戻る）で印刷を中止できません。携帯電話を操作して中止してください。
- 印刷される画像の向きはセルフィーで自動的に設定されます。
- お使いになる用紙サイズによっては、画像の上下左右が切り取られて印刷されることがあります。

- 動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/cpp でご確認ください。
- 携帯電話から接続先の機種名を選ぶときは、「Canon CP780-XX:XX:XX（X は 1 桁の数字）」を選んでください。

故障かな？と思ったら

「セルフィーが故障したのかな？」と考える前に、下記の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

電源

■電源が入らない

- 電源が正しくつながっているか確認してください （p.11）。
- バッテリー（別売）をお使いのときは、充電されたバッテリーを使ってください （p.29）。
- 画面が表示されるまで、⏻ を押したままにしてください （p.13）。

印刷

■印刷できない

- カラーインクカセットやペーパーカセットが正しく入っているか確認してください （p.11）。
- インクが無いときは、新しいカラーインクカセットに交換し、用紙が無いときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください （p.14）。
- 用紙とペーパーカセット、カラーインクカセットの組み合わせが正しいか確認してください （p.9）。
- カメラやカード、パソコンを同時につないでいると印刷できません。複数つないでいる機器を取り外してください。
- インクシートがたるんでいないか確認してください （p.9）。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください （p.10）。
- セルフィーは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。パソコンにつないでいるときは、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

カードから印刷できない／画像が表示されない

- カードが、正しいスロットにラベル面を上にして奥まで入っているか確認してください （p.12、p.13）。
- 対応画像か確認してください （p.12）。
- 専用のアダプターを使わずに、カードをカードスロットに差し込んでいないか確認してください （p.12）。

カメラから印刷できない

- セルフィーとカメラが正しくつながれているか確認してください （p.25）。
- カメラが PictBridge に対応しているか確認してください （p.25）。

パソコンから印刷できない

- 正しい手順でソフトウェアをインストールしているか確認してください （p.21）。
- セルフィーとパソコンを、USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください。
- Windows をお使いのときは、プリンターがオフラインになっていないか確認してください。オフラインになっていたら、プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Macintosh をお使いのときは、プリンタリストにお使いのセルフィーが登録されているか確認してください。

■日付印刷ができない

カードから日付印刷できない

- 日付を入れて印刷する設定を行っているか確認してください （p.17）。
  DPOF 印刷を行うときは、日付の設定は DPOF を設定したカメラで行います。

携帯電話から日付印刷できない

- Bluetooth を使って印刷するときは、日付は印刷できません。

カメラから日付印刷できない

- カメラ側で日付の設定が［入］になっているか確認してください。なお、「標準設定」に設定したときは、セルフィー側の日付印刷の設定が反映されます。

■きれいに印刷できない

- インクシートや用紙が汚れていないか確認してください。
- セルフィー内部にホコリなどが付着していないか確認してください（p.33）。
- セルフィーに結露が発生していないか確認してください（p.33）。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていないか確認してください（p.8）。

■パソコンの画面の色と印刷された色が違う

- パソコンの画面と印刷では、発色の方法が異なります。また、画面を見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、画面の色の調整によっても違ってきます。

■パソコンで印刷中断後に再開したら、すでに印刷した画像が印刷されてしまった

- Macintosh をお使いのときは、印刷を中断したあとで再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

用紙

■用紙がカセットに入らない

- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズがあっているか確認してください（p.4）。

■きちんと紙送りされない

- 用紙やペーパーカセットが正しくセットされているか確認してください（p.11）。

■よく紙が詰まる

- ペーパーカセットに用紙を入れすぎていないか確認してください。
  19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）の用紙を入れないでください。
- ペーパーカセットの上に印刷済みの用紙を 19 枚以上（ワイドサイズで 13 枚以上）ためていないか確認してください。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください（p.10）。

■枚数分印刷できない／用紙があまる

- 「電源の入／切を繰り返す」、「印刷中に印刷を中止する」、「インクシートを引っ張る」などの操作を行うとインクシートを消費します。また、複数枚数印刷している途中で用紙が無くなったときに、カラーインクカセットを抜いても、インクシートを消費しますので、用紙を補充するときは、カラーインクを抜かずにペーパーカセットを抜いて、用紙を補充してください。

エラーメッセージが表示されたら

セルフィーに異常が発生すると、画面にメッセージと対処法が表示されます。ここでは、画面に対処方法が表示されないメッセージが表示されたときの対処法を記載します。また、セルフィーとカメラをつないでいるときは、カメラの画面にもエラーメッセージが表示されることがありますので、あわせて確認してください。

■用紙がありません

- ペーパーカセットが正しく入っているか確認してください（p.11）。
- 用紙が無いときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください（p.9）。

• 給紙が正しく行われていないときは、ペーパーカセットを取り出し、セルフィーに残った用紙を抜き取ってから、もう一度ペーパーカセットを入れてください。

■用紙が詰まりました

• 電源を入れなおしても用紙が出てこないときは、別紙の相談窓口へご相談ください。
• セルフィーの背面に、印刷中の用紙が出たままになっていないか確認してください。

■インクカセットが異常です

• カラーインクカセットを取り出して(p.14)、もう一度入れ直してください(p.11)。ただし、カラーインクカセットが取り出せないときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

■画像が読み込めません

• 対応画像（p.12）以外は印刷できません。▢（戻る）を押すと元の画面に戻ります。

■通信エラー

• 携帯電話と正しく通信できませんでした（p.30）。▢（戻る）を押すと元の画面に戻ります。

■画像がありません

• カードが奥までしっかり入っているか確認してください（p.13）。
• 対応画像か確認してください（p.12）。

■エラー

• 電源を入れなおしても同じメッセージが表示されるときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

日ごろの取り扱いについて

● 強い力や振動を加えないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
● 印刷しないのに電源の入／切を繰り返さないでください。
セルフィーの初期動作のときに、インクが消費され、枚数分の印刷ができなくなることがあります。
● 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。外装が変質することがあります。
● 周囲の温度によっては、セルフィーが一定温度以上になると一時的に印刷が停止しますが、故障ではありません。温度が下がると印刷が再開されますので、少しお待ちください。また、「連続して印刷するとき」、「周囲の温度が高いとき」、「セルフィー背面の通風孔がふさがれるなどして、セルフィー内部の温度が高いとき」は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
● 本機器を寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、本機器をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。
● セルフィーが汚れたときは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
● バッテリーカバーや通風孔（p.6、p.29）にホコリが付いたときは、カラーインクカセットを取り外して（p.14）からホコリをとってください。通風孔からホコリが入ると、きれいに印刷されないことがあります。

(!) 絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤を使ってセルフィーを拭かないでください。外装が変質や変形したり、塗装がはがれることがあります。

主な仕様

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

SELPHY CP780

印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコート付）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調数	256 階調／色	
インク	専用カラーインク（Y/M/C ／オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ、L サイズ、カードサイズ（全面シール、8 分割シール含む）、ワイドサイズ	
印刷サイズ	**フチなし**	**フチあり**
ポストカードサイズ	100.0 × 148.0mm	91.4 × 121.9mm
L サイズ	89.0 × 119.0mm	79.2 × 105.3mm
カードサイズ	54.0 × 86.0mm	50.0 × 66.7mm
（8 分割シール 1 枚あたり）	22.0 × 17.3mm	－
ワイドサイズ	100.0 × 200.0mm	91.4 × 121.9mm
印刷時間 *1	**メモリーカードから印刷時／カメラ（PictBridge）接続時**	
ポストカードサイズ	約 47 秒	
L サイズ	約 39 秒	
カードサイズ	約 24 秒	
ワイドサイズ	約 60 秒	
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
画面	2.5 型 TFT 液晶カラーモニター	
インターフェース		
USB	PictBridge 対応機器：TypeA パソコン接続時：TypeB	
無線	Bluetooth*2	
メモリーカード	CF カード、マイクロドライブ、xD-Picture Card*3、SD メモリーカード、miniSD カード、SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、MultiMedia カード、MMCplus カード、HC MMCplus カード、MMCmobile カード、RS-MMC カード、microSD カード *3、microSDHC カード *3、MMCmicro カード *3、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ *3	
動作温度	5 ～ 40℃	
動作湿度	20 ～ 80%	
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W バッテリーパック NB-CP2L（別売）	
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）	
大きさ	176.0 × 132.6 × 75.6mm	
質量（本体のみ）	約 940g	

*1 イエロー面の印刷開始から排紙完了まで。
*2 Bluetooth ユニット BU-30（別売）が必要。
*3 専用アダプター（市販品）が必要。

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W

定格入力	AC100～240V（50/60Hz） 1.5A（100V）～0.75A（240V）
定格出力	DC24V、2.2A
大きさ	122.0 × 60.0 × 30.5mm（電源コードを除く）
使用温度範囲	0～45℃
質量	約310g

・当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

Li-ion

・不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
・詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
　ホームページ：http://www.jbrc.com
・プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
・被覆をはがさないでください。
・分解しないでください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

妨害電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると､受信障害を引き起こすことがあります。プリンタユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDHC ロゴ、miniSDHC ロゴは商標です。
- Portions of the code used in this firmware are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙の相談窓口までご連絡ください。
- このプリンターやソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Canon
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター　050-555-90013

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00 ／土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、セルフィーで印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。

CDI-J383-060